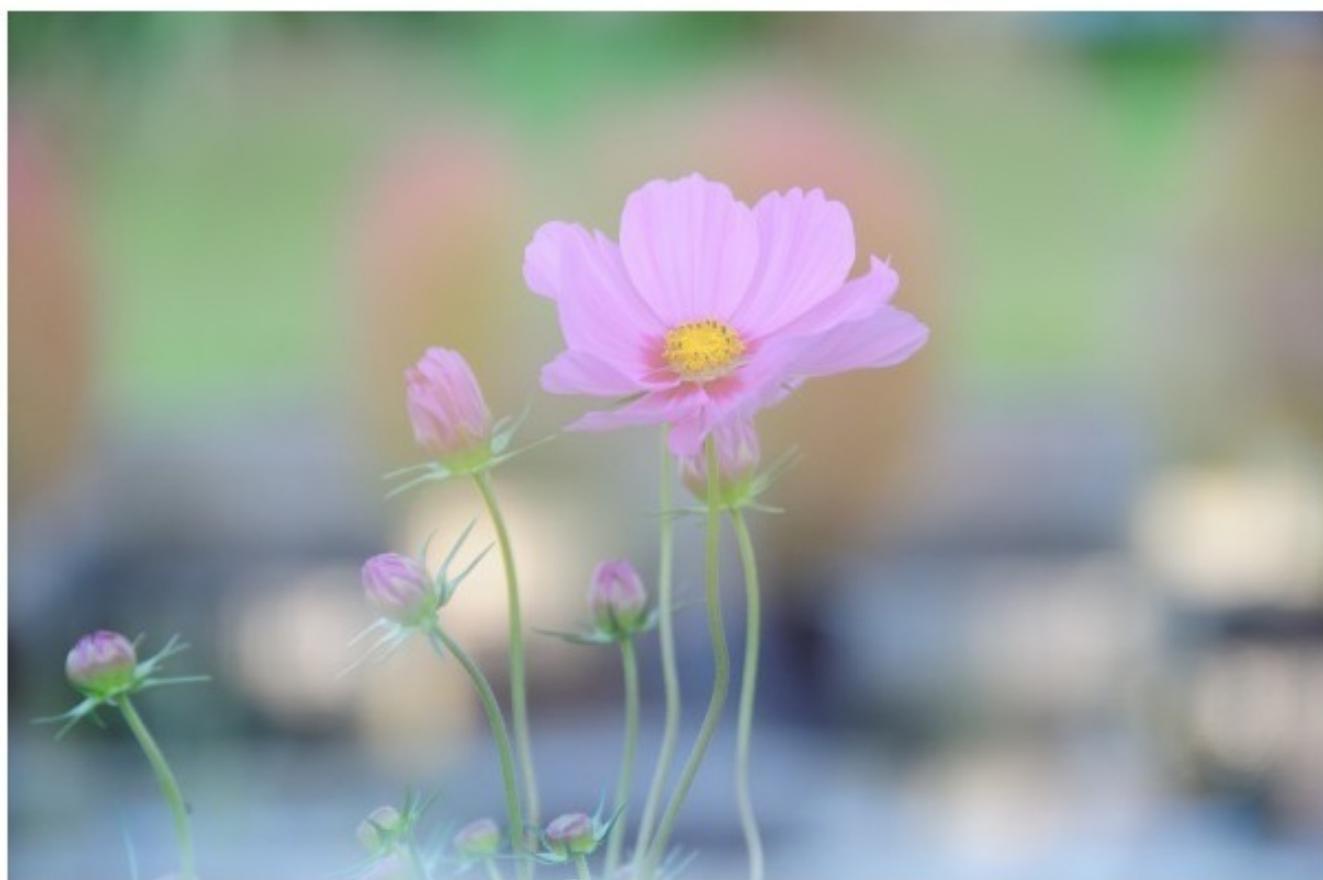


# コスモスの 多重露出撮影



多重露出撮影の  
ポイントやコツを掲載

みのすけ

# 目次

---

## 目次

1. 普通の多重露出撮影
2. 幻想的表現の多重露出撮影
3. メルヘンの表現の多重露出撮影
4. 多重露出撮影作品と掲載文（石仏とコスモス）

カメラはデジタルになり誰でも簡単にきれいな写真を撮れるようになりました。

便利で喜ばしい事です。

そして他人とは違う個性的な写真を撮りたいと思う人も増え、カメラ機能が多機能化しています。

個性的な写真の技法は白黒写真やハイキー、ローキー、絵画調、フィルター効果など多くあります。

この本の主題の多重露出（メーカーにより多重露光とも言う）撮影も撮影技法のひとつでフィルム時代初頭から多く使われています。

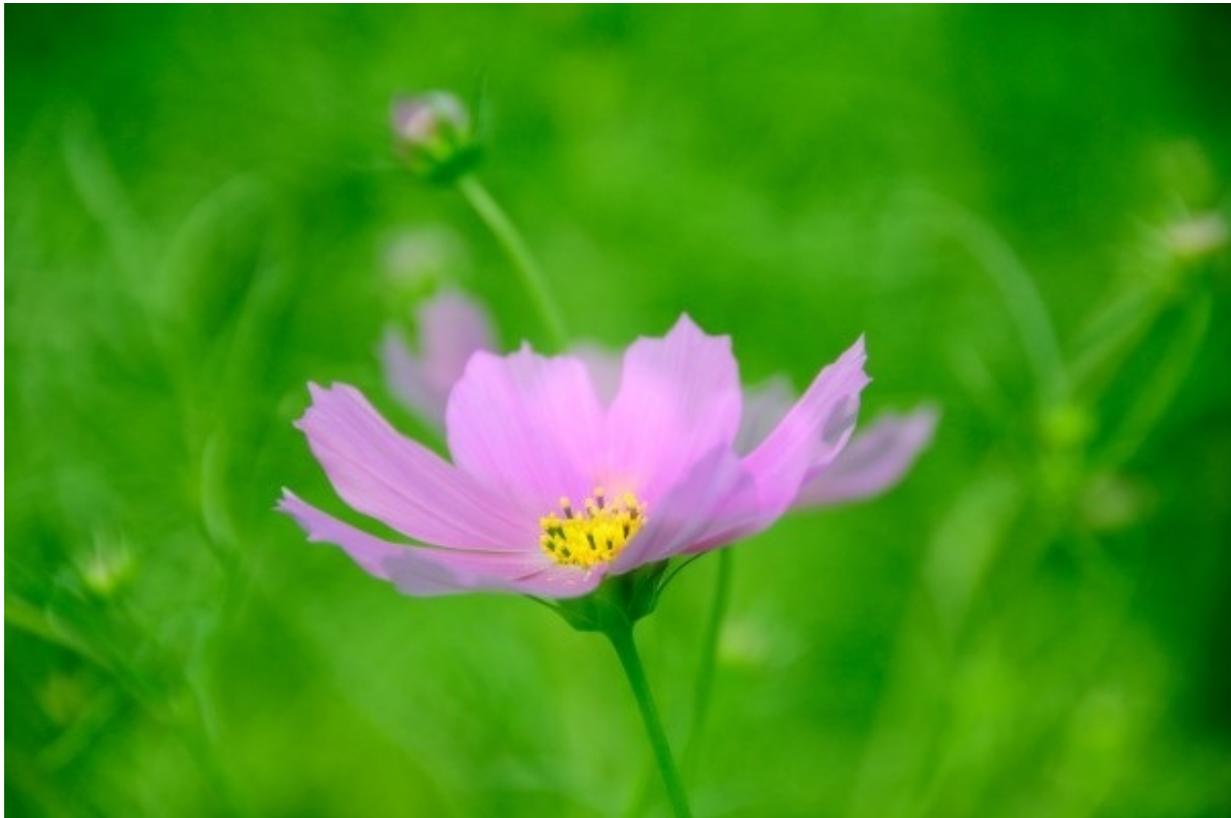
しかし多重露出撮影の専門書は少なくフィルム時代では撮影に手間やコストも掛かりました。デジタルカメラの時代になり撮影現場で画像の確認と撮り直しができるようになり、多重露出撮影の本格的な時代がやって来た事はうれしい事です。

そしてこの本は一般的な写真の説明マニュアルではなく、多重露出撮影に特化して書いております。

どうぞ最後までお読み戴き、個性的な多重露出撮影のお手伝いが出来ます事を願っております。

## 1. 普通の多重露出撮影

---



### 「多重露出撮影について」

多重露出撮影は初めの画像上に次の画像を重ねて撮影する方法です。

フィルムカメラ的に言えば1回撮影すると次のフィルムを送らず

1回目撮影したフィルム上に画像を何回も重ねて焼き付ける方法です。

別の場所にある被写体をひとつの画像上に加えアレンジした画像を楽しむ事も出来ます。

多重露出撮影を使うと写し方の工夫次第では幻想的や想像的な表現が可能になります。

多重露出撮影を使う事によりあなたの写真の世界に幅と奥行きが広がるに間違いありません。



多重露出撮影を使うと幻想的な表現が出来ます。

同じアングルのコスモスを使い花びらを多重露出撮影しました。

1枚を少しぼかし気味にする方が自然の揺らぎ感が出ます。

多重露出撮影の基本的なコツは

1回目をマイナス1/2又はマイナス1/3絞り分暗く撮ると

2回目がよりクッキリ出やすい事です。

カメラは自動ゲインしてくれますが慣れたら手動で補正する方が  
微妙な表現が可能になります。



多重露出撮影の短所は画像を重ねると色が薄くなることです。  
良い意味ではソフトレンズを使ったソフトな色調効果のようなものです。  
しかし主役に普通撮影と同じクッキリした色調を持たせたい時があります。

そんな時のポイントですが  
2枚目画像上に1枚目の主役が来る位置の配色に黒を持って来る事です。  
それは主役が2枚目の黒色と合成されないのでクッキリ出せるからです。



1回目は普通にクッキリ撮影する。

（普通は1回目に主役を撮る方が2回目以降の配置を決め安いのですが  
撮影内容により逆の場合も存在します）

2回目は少しピントをぼかし気味に撮り、主役を引き立てます。

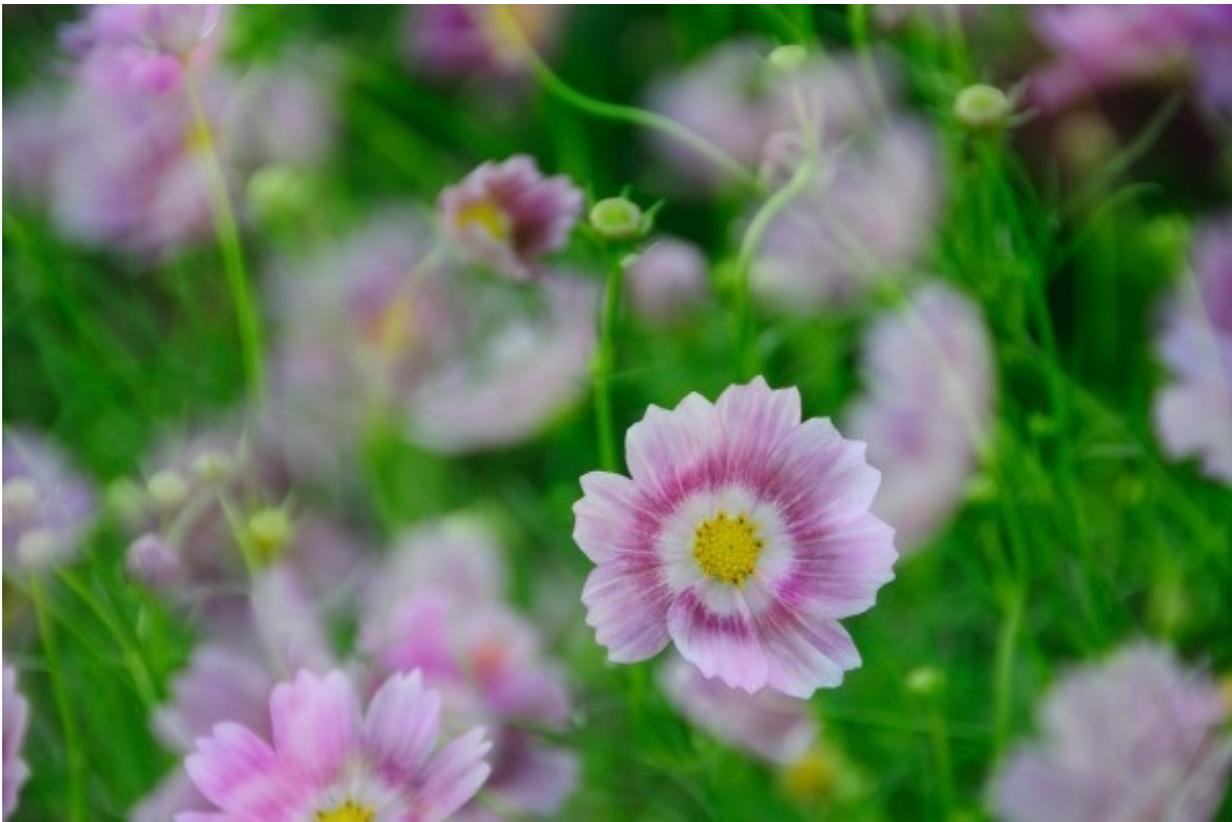


私の多重露出のコマ数はほとんど2回です。

コマ数を増やすと重なり具合が雑多になったり、色の重なりにより変わる色を読めない事があります。

上の写真は2回とも被写体にピントを合わせクッキリ撮影しました。

色違いの逆さ向きのコスモスを横に対比させ無常観を出しました。



コスモスなど小さな花は集合体で写したい場合があります。  
集団のコスモスでは輪郭が出過ぎるとごちゃごちゃ感が出ますので  
集団のコスモスの時はボケ味を強くして、輪郭が薄く残る位が最適です。  
主役のコスモスはピントを合わせ少し大写しにして、  
輪郭が濃く出るコスモスは数本に絞るとすっきりします。  
ただしボケ味が出過ぎると霧の中のようになってしまいます。



被写体をどう表現するかで写真の明るさや構図が変わってきます。

多重露出撮影はカメラ任せのマルチパターン測光やプログラムオートではなく、  
自分好みの表現が出来る中央部重点測光、スポット測光や絞り優先、シャッター優先、マニュアル

操作などを駆使して自分流の個性的な写真を作ってください。

多重露出撮影はアナログ感覚を磨く必要がある撮影かも知れません。

デジタルカメラなら撮り直しがその場で出来ますので何度もチャレンジしてください。

多重露出撮影はメーカーにより出来ないカメラがありますのでメーカーにご確認ください。

## 2. 幻想的表現の多重露出撮影

---

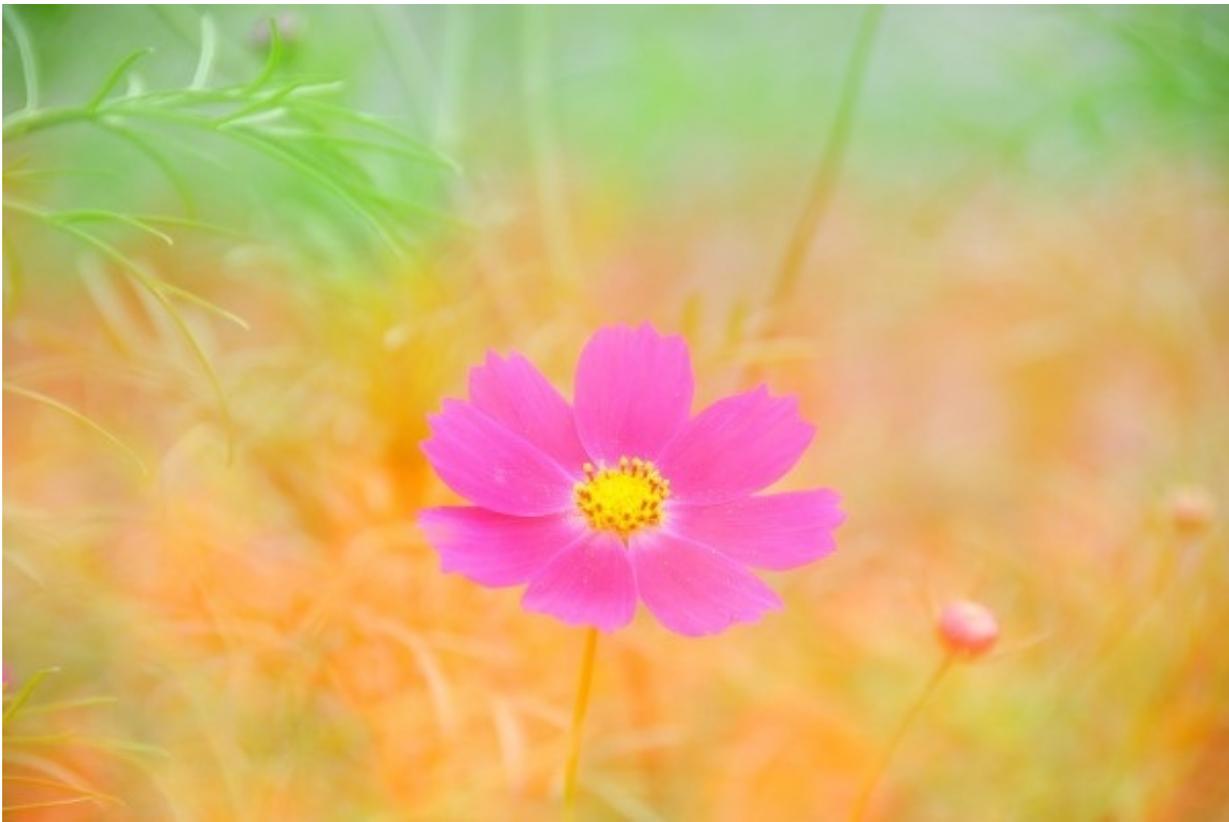


幻想表現を濃くした写真になります。

1 回目に主役のコスモスを撮る。

2 回目は背景をどう演出するかで写真が変わります。

(但し表現内容により逆になる場合もあります)



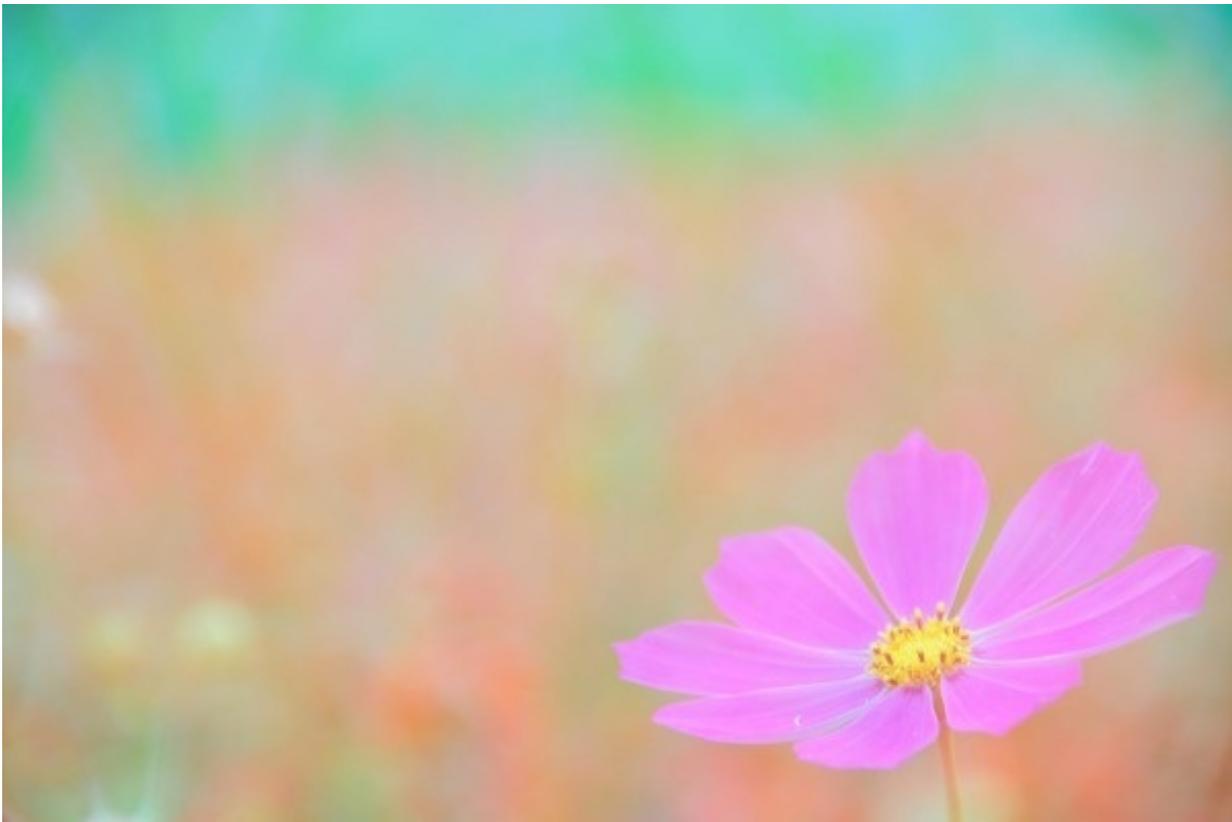
幻想表現の場合植物園などの集団になった植物群の色や逆光に透ける色を利用するときれいです

。

多重露出撮影は被写体の色が合成され思わぬ色に変化する事がありますので要注意です。

白色と重ねると霞が掛かったように白く薄色に変化します。

淡い霧中の表現に利用できます。

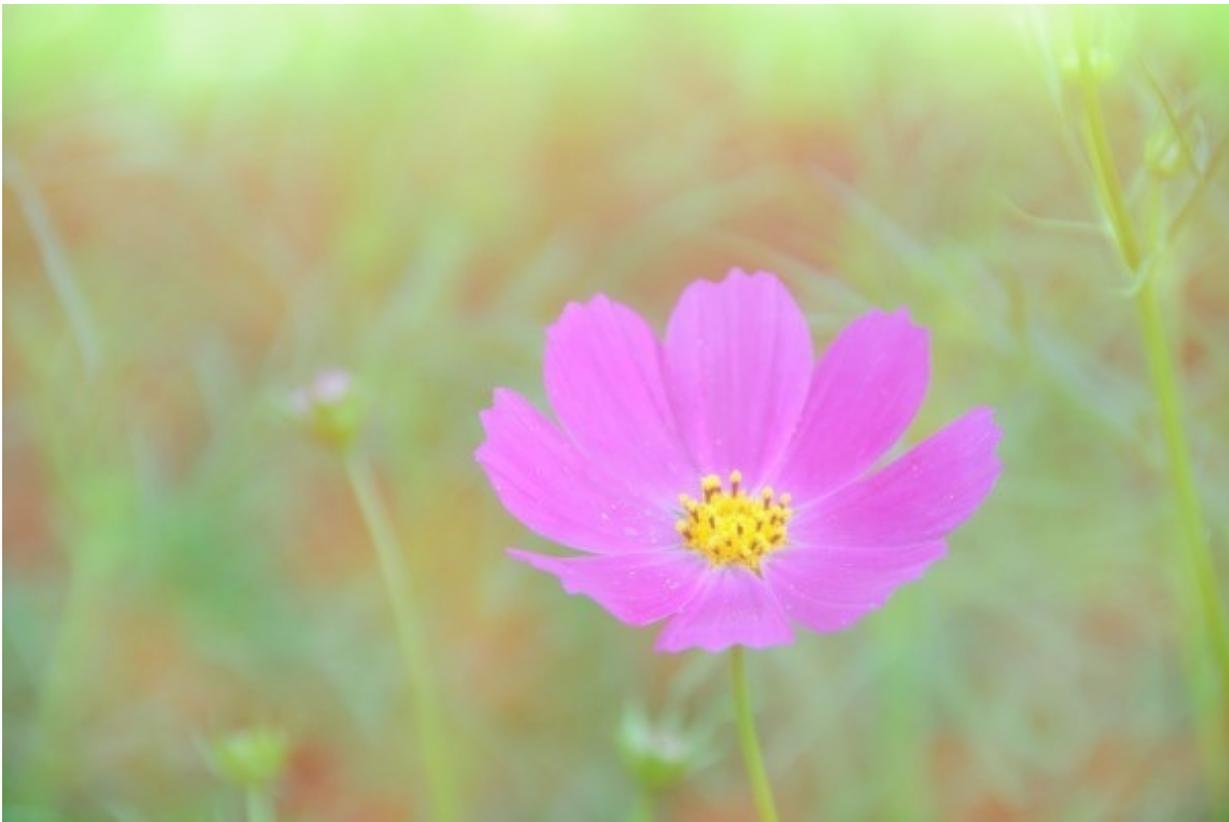


多重露出撮影はズームレンズが便利です。

主役の被写体はピントを合わせクッキリ撮ります。

背景はズームレンズをマニュアルフォーカスにして手動で好みのぼかし具合にして入れます。

主役背景の邪魔物の存在を隠す事が出来ます。



多重露出撮影の重ねる背景が身近にない場合があります。

1回目撮影から2回目撮影までの持ち時間を半押しタイマー（ニコンの呼称）と言います。半押しタイマー設定時間が短いと2回目撮影前に中断され多重露出撮影が出来ません。

多重露出撮影ではこの「半押しタイマー」の設定時間を長くする方が

2回目のシャッターを押すまでの余裕時間になり、あせらずに被写体探しや構図を考える事が出来ます。



被写体の測光方法について、

被写体の周辺は暗部になる方が多重露出の重ね時に2回目の被写体がクッキリ出やすくなります

。

スポット測光は被写体だけの光量を測り周囲は暗く写り多重露出撮影には便利です。

全体的に明るく表現したい時には中央部重点測光で周辺部にも光が回るようにします。

### 3.メルヘンの表現の多重露出撮影

---



多重露出撮影のゲイン補正はマイナス側に1/2又は1/3絞りするのが一般的です。

しかし2回目の被写体を浮き上がらせたい時は

1回目に背景の被写体を少しぼかし気味に写します。

2回目は被写体にピントを合わせ同じ色の所に配置してプラス1/2又は1/3絞り  
明るく撮ると浮き上がった感じになります。

但し表現内容によりもっと浮き上がった表現を望む時はプラス2/3絞り明るくしてください。

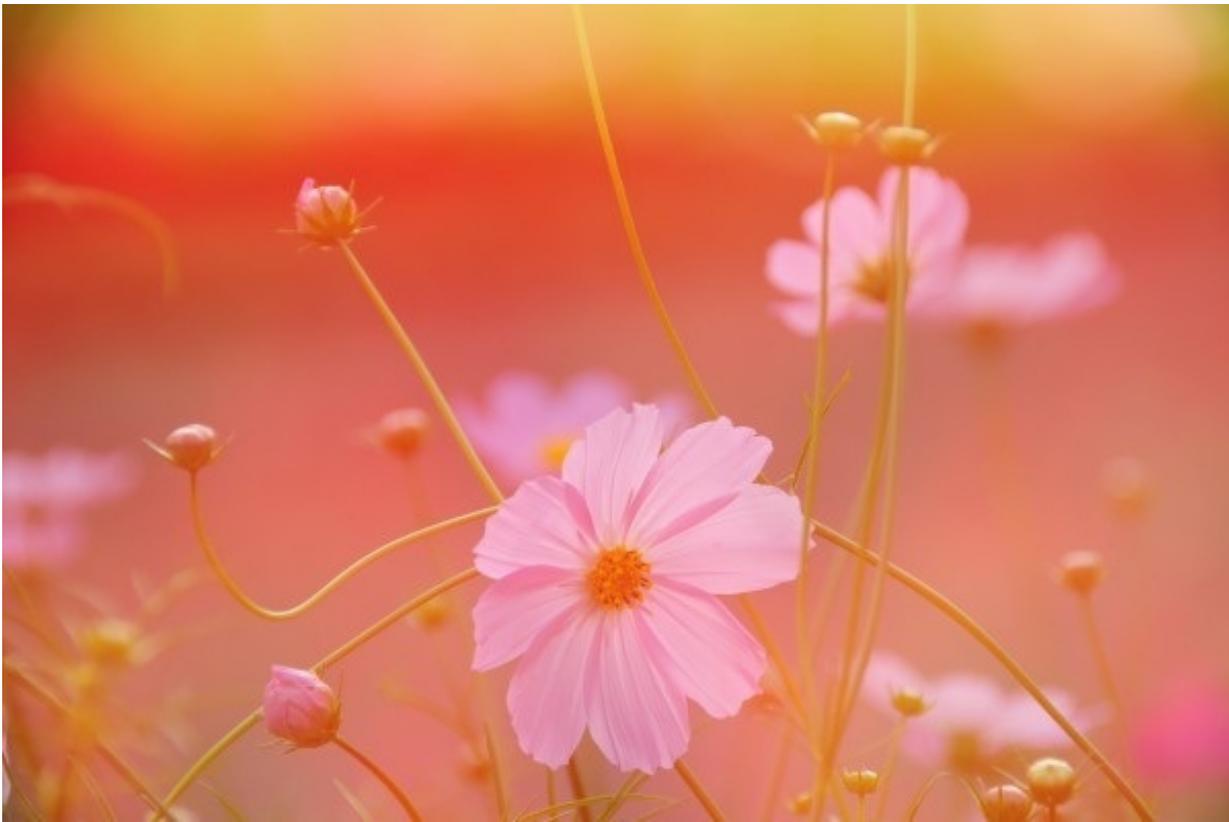
(上の写真は説明文とは異なります)



緑色は赤色と混ざると茶色ぽく変色します。

コスモスの茎の緑色が後から重ねる被写体と同化し濁った色にならないように注意してください。

今回は上部に赤色がありましたので2回目の上部の配色は黒をベースにしました。  
うまく赤色が濁らず出て来ました。



多重露出撮影は黒を使う事がポイントです。

黒は暗部でもあります。

日陰、日光の当たる所と当たらない所のギャップ差、黒い塗装部などすべてが使えます。

絞りでマイナス1段以上補正するとかなり暗くなり、完成品も暗く仕上がります。

最適はマイナス1/3~2/3位ですが構図の情景しだいです。

#### 4.石仏とコスモス

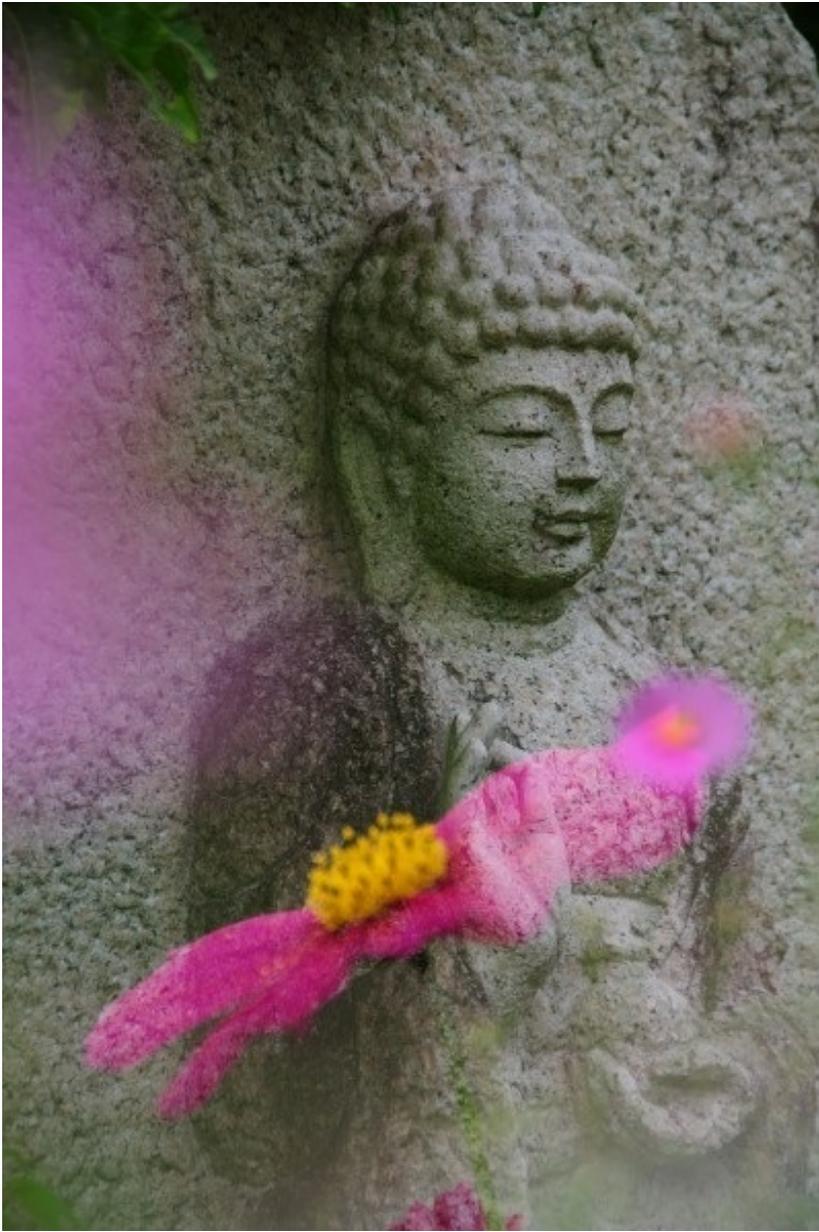
---



違った性質のものを多重露出撮影すると物語性が出て来ます。  
硬質の石仏と軟質のコスモスは合わせ易い被写体であります。  
柔和な顔立ちに可憐なコスモスは心が響き合っているようです。  
しかし何をどう訴求するかでピントの合わせ方や構図が変わって来ます。



石仏とコスモスの構図の変化により表現を変えられますが、  
コスモスの絞り補正のプラスマイナス次第で  
石仏の中にコスモスをとけ込ませる具合で幻想感の調整が出来ます。



写真の訴求内容を写真と一緒に掲載すれば、写真はもっと物語性が高くなると思います。  
ただ長文では見る人に冗長感を与え、写真の訴求効果が減少します。

2行文程度が良いと思います。

初めの1行文はその写真を撮る心境、心の動きなどの導入部を書きます。

2行目はその写真から受ける印象やその後の夢や心の歩む方向を書きます。

次ページはその例文です。



幸せを求め旅に出る

淋しさの果て、微笑みに巡り会う

この本を参考にして戴き是非多重露出撮影にご挑戦してください。

## コスモスの多重露出撮影

<http://p.booklog.jp/book/58336>

著者：みのすけ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/minosuke7/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/58336>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/58336>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ